

クリスマスによせて

成蹊学園キャラクター ピーチくん



みなさん、メリークリスマス。ピーチくんです。
きょうは、みなさんにぼくのヒミツをお話しします。

ぼくは、大正13年、西暦でいうと1924年の3月に本館大講堂の片隅で生まれました。

その年は、成蹊学園が池袋から吉祥寺に移転をする年でした。ひろびろとした武蔵野村の吉祥寺まで、のべ165台の荷馬車で5日間もかけて荷物を運んだそうだよ。なんて大変なお引越しだったんだろう。

そうして、成蹊学園は未来に向かってきらきらと輝こうとしていたんだけど、とてもとても悲しいことに創立者の中村春二先生が、吉祥寺の校舎を見ないまま、その年の2月21日に亡くなってしまったんだ。生徒を、学校を、何よりも大切にしていた春二先生は、とても心残りだったと思うよ。

そこで、先生方が春二先生の思いを未来に残そうと、春二先生のご自宅のお庭に生えていた「イチイの木」の根元の土をはこんで、吉祥寺の校舎の下に埋めたんだって。ちょうど本館大講堂の教壇の下あたり・・・、ぼくはね、その年の3月にその土から芽を出したんだ。（これ、ぼくとみんなだけのヒミツね。）



だからぼくは春二先生の精神を受け継ぐ桃っていうか、ちょっとくすぐったいけど、みんなに春二先生の思いを伝えていくために生まれてきたと思ってる。



春二先生はこの学校に名前をつけるときに中国の古いことわざ「桃李不言下自成蹊」からつけたんだそうです。桃や李（すもも）はしゃべらないけれど、おいしい実がなり、きれいな花が咲くからそこに人が集まって蹊（こみち）ができる。

ぼくはまだまだそんな素敵な桃ではないんだけど、いつかそんな桃になりたいと思う。



それから、もうひとつ、成蹊学園のヒミツも教えるよ。

E S Dってコトバ、最近よく耳にするよね。(ぼくは耳ついてないけどさ)

なんと、成蹊学園って、100年以上も前から、E S Dのさきがけになる教育をやってたんだって。すごいよね。それは、成蹊流には「ホンモノにふれる体験」っていうんだけど、自然のなかで実験したり観察することで、知的好奇心を刺激して、科学的思考ってやつを高めていくことなんだって。

ぼくもね、かれこれ90年、毎日かかさず気象観測しているし、夏の学校で植物や虫を観察したり、泥だらけになりながら畑で野菜を育てたりしてる。

自然のなかにはたくさんのビックリやハテナがあってね、教科書にはない答えがたくさんつまっているんだ。

世界は今、大変な困難とたたかっていて、そんなふう自然のなかで学ぶことも、友だちと会うことすらままならないけれど、世界中でいろんな人がいろんな努力をして、この困難に立ち向かっている。きっとみんなもそうだよね。ぼくも毎日ぼくにできることをがんばることにした。

だから、きつときつと、もうすぐ、もう少しで、希望にあふれる未来が来るはず。



明けない夜はない。
朝日が昇ったら、
また、思いっきり
ハグしようね。

メリークリスマス！
そしてちょっと早い
けど、良いお年を。
(お餅は食べすぎ注意)

筆者のプロフィール

ピーチくん (ぴーちくん)

成蹊学園キャラクター。1924年3月3日生まれの桃

コロナ禍でみんなに会えないので、現在、ステイホームで、Webサイトを作成中



ピーチくんをモチーフにした物語「春二先生と夢の教室」を
Youtube で配信しています。聖夜にご家族でお楽しみください。

<https://www.youtube.com/watch?v=1Bh6tojcUeg>

(ついしん) ふあんれたーはこちら↓

〒180-8633 武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1 成蹊学園 ピーチくん あて